

Club BUSINESS FARMERS

『農業経営者』読者の会 会報

CONTENTS

定例セミナーがキックオフ!

活動内容、スケジュールなどを決定

読者の会とは/目的/活動内容
/スケジュール/会員募集

9月21日定例セミナーのご案内

ご案内/セミナー参加申込書

Vol.1 2007年9月1日発行

■発行・編集/『農業経営者』読者の会 事務局(担当:長谷川) (株)農業技術通信社内
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-25 康洋ビル9F TEL 03-3360-2697 FAX 03-3360-2698



「顧客は農水省でも日本国民全体でもない。産品やサービスを買ってくださる個々のお客様なんだ」と本誌編集長・昆吉則。



「1回や2回で終わらず、ぜひ読者の交流の場に!」と参加者から声援も。

『農業経営者』読者の会

定例セミナーがキックオフ!

猛暑きびしい8月10日、第一回『農業経営者』読者の会 定例セミナーが開催された。講師は本誌編集長・昆吉則。創刊から15年、読者と共に農場経営を見つめてきた男が伝えるメッセージとは?

「農業」ではなく「農場」を語れ!

農業経営者にとって、「土」とは、足元の耕し続ける土であると同時に、家族であり、ともに汗をかき仲間であり、取引先であり、生産物やサービスを買ってもらった顧客なのではないか。その土を作り、収穫しても戻し続ける意思を持ち、そして信じる。そこに未

来がある——『農業経営者』創刊の辞、

原点の再確認から講演はスタートした。

それから一転して、農業を取り巻く

直近の話題に。今年の米仮払い7千円

ショック、農業をカロリーや価格だけ

で考える時代が終わっても続く食糧自

給率論、そして「日本農業」を語るこ

とで自らの「農場」の経営者である責

任から逃げるな……と話題は展開。

「これからの農場経営を守るのは国の

農業政策ではない。お客様、そして市

場の支持を得ることにある」

講演が50分を過ぎた頃、今年から米

価の影響もあって経営破綻する経営者

が増えることを危惧している、そして

責任を取るのには常に経営者なのだ、と

いう話を始めると万感胸に迫ったのか、

急に言葉を詰まらせた。その目の奥に

小さく光るものを見つけた参加者の表情は引き締まり、1時間の講演が終わると、万雷の拍手が会場を包んだ。

読者交流の場として継続を

興奮の余韻を残して、セミナーは質

疑応答の場に。タイムリーな話題への

質問が飛び交い、昆が独自の切り口で

ざっくり斬っていく。

——政策的に食糧自給率を上げるとい

うが、農家にとって何が変わるのか?

「食糧自給率低下の理由は生産力の減

退が理由ではない。油脂と飼料の輸入、

そして食文化の変化が原因。農業経営

者は自給率を語るよりも魅力的な商品

作りに取り組むべき」

——バイオ燃料についてどう思うか?

「必要だとは思いますが、農業の構造改善

なくしては成立しえない。遅れる改革

の隠れ蓑に利用されているのでは」

最後に07年8月号に登場した(株)且千

花の大槻会長からエールが贈られた。

「こういったセミナーを開くのであれば、

1回や2回で終わってほしくない。

飲みの席も活発に設けて、ぜひ読者の

交流の場にしてほしい」

プログラム終了後は、ビール片手に

懇親会。暮れなずむ高田馬場の町並み

を見下ろしながら、参加者の歓談が続

いた。会場を支配した熱気は、夏が過

ぎても消えることがなさそうだ。

『農業経営者』読者の会

活動内容、スケジュールなどを決定

07年9月号掲載の『農業経営者』読者の会（以下 読者の会）発足準備中のお知らせには、多数のお問合せをいただきまして、誠にありがとうございました。読者の会について概要が決まりましたので説明します。



読者の会とは

農業経営者、農場スタッフ、農や食に関わる業界人が、有志で集う同友会です。

よりよい農場経営のありかたを追求する人や、それを通して農や食に関わ



STEP-1の目的

る業界を成長発展させようと目指す人が集まる場です。

農場が直面する課題、その技術的・経営的改善方法、成長、発展する農場の理念とその道筋を明らかにし続ける。

STEP-1

志ある読者が集い、共に学ぶ

STEP-2

食・農業界発展のための
提言活動を行なう

STEP-3

日本を代表する農業界の
産業団体を形成する

STEP-4

世界の農と食をリードする
産業発展集団となる



活動内容

■技術革新

生産技術の課題解決および会合の実施
農場の経営課題に応じた技術開発の
要望をとりまとめ、会員とメーカー・
研究機関の知見を結集して解決につな
げます。また、その一環として、実演
会や研究会を開催します。

■人材育成

農場スタッフを育てるネットワークづ
くりのサポート、交流会の運営
次世代の農業経営者の育成をはかる
ために、後継者や若い農場スタッフの
ネットワークづくりをサポートします。
また、地域や業種をこえた交流会を運
営します。

■顧客開拓

食の商談会、展示会への共同参加
顧客開拓の手段として、個人ではな
かなか出展しにくい商談会・展示会に、
共同出展します。国内の外食・中食・
小売・通販・加工食品業界向けの商談
会から、世界の業界関係者が集う展示
会まで、商品を売り込みます。

■自己研鑽

定例セミナーの主催と参加
農業経営者や関連業界人を講師に招

き、農場の成長、発展に役立つ定期セ
ミナーを毎月（年間20回以上予定）開
催します。懇親会では、情報交換や人
脈構築の機会を提供します。

■視野拡大

国内・海外の先進視察ツアー、異業種
交流会の企画と運営
国内と海外で最先端に行く農場や、
マーケット、展示会を訪ね歩きます。
農産物輸出入が視野に入った今、情報
源を広く持つことが農業経営者に求め
られています。農と食の事業者として、
仕入先、売り先、進出先は世界スケー
ルで考えます。

■商売繁盛

新しいビジネスモデルの開発
農場が成長・経営発展していくため
に、他農場や異業種の先進的な事業に
ついて学びあい、会員が将来にわたっ
て新たなビジネスモデルを開発するヒ
ントを提供します。また、それを実現
する共同事業を生む場を提供します。

●読者の会では、皆様からの企画・提
案をお待ちしております。「こういう
技術について知りたい」「あの展示会
に出展したい」「あの人に農業経営を
語ってもらいたい」など、ご意見・ご
要望をお待ちしております。

※左記の用紙にご記入ください。



10/12 金 (株)農業技術通信社内セミナー会場 16:00~18:00

「農業先進国産業論」

【講師】叶芳和氏 1943年鹿児島県奄美大島生まれ。元・財団法人国民経済研究協会理事長。元・拓殖大学国際開発学部教授。現在、帝京平成大学現代ライフ部教授。著書に『農業・先進国型産業論』（日本経済新聞出版社）、「日本よ農業国家たれ」（東洋経済新報社）、「農業ルネッサンス-21世紀産業のイノベーターたち-」（講談社）など。



10/25 木 (株)農業技術通信社内セミナー会場 16:00~18:00

「私の農業、群馬に始まり青森、静岡への展開」

【講師】澤浦彰治氏 1964年群馬県生まれ。84年に就農。「らでいっしょぼーや」との出会いをきっかけに有機・無農薬栽培を始める。92年、「野菜くらぶ」を設立。97年、モスパーガーに出荷する特別栽培野菜の契約農場第一号。その後、青森にも農場を設立し、地域を越えた農業を展開している。売上高15億円(連結)。経営面積32ha。



11/9 金 (株)農業技術通信社内セミナー会場 16:00~18:00

「コメ価格暴落後の日本の水田経営」

【講師】土門剛氏 1947年大阪府生まれ。農業や農協問題の論文を規制緩和と国際化の視点から多数執筆。著書に、『農協が倒産する日』（東洋経済新報社）、「穀物メジャー」（共著/家の光協会）、「東京をどうする、日本をどうする」（通産省八幡和男氏と共著/講談社）、「コメと農協「農業ビッグバン」が始まった」（日本経済新聞社）など。



11/25 木 (株)農業技術通信社内セミナー会場 16:00~18:00

「サイレージ生産を核に畑輪作体系1000haを目指す」

【講師】坂上隆氏 1968年鹿児島県生まれ。24歳で就農。加工用ジャガイモ、サツマイモ、ケール、デントコーンなどを輪作。生産はすべて企業との契約栽培。03年にコントラクタ事業として飼料の供給販売を開始。今期はデントコーン80haを作付け。社名は先代が芝の生産を始めたことによる。売上高2億8千万円。無借金経営。剣道6段。

スケジュール

今年10~11月には、次のセミナーを企画しています。その他、食の商談会への出席、海外視察ツアーも鋭意企画中です。『農業経営者』07年10月号94~95ページの広告もご覧下さい。

【参加申込について】

●セミナーに参加される方は、あらかじめFAXにて予約をお願いします。次ページの申込書をご利用ください。●食の商談会への出席、海外視察ツアー、その他の企画のスケジュールや参加申込につきましては、事務局までお問合せ下さい。

会員募集

読者の会は、『農業経営者』定期購読者の会です。次の3種類の会員で構成されています。

- 正会員 定例セミナーへの無料参加、セミナーの収録音声の頒布
- 運営会員 読者の会の目的に賛同し、その活動に対して助言や情報提供を定期的に行うことで組織運営に参画
- 賛助会員 『農業経営者』と本会報・メルマガの特別枠での広告掲載、各種イベントでのPR(資料配布、商品展示)、会員モニター募集、『農業経営者』3部贈呈など

■会費設定

入会を希望される方には、次のような会費のお支払いをお願いしています。※すでに『農業経営者』を定期購読されている方は、自動的に正会員となります。特にお申込は必要ありません。

種別	会費
正会員	定期購読料に含む
運営会員	定期購読料に含む
賛助会員	定期購読料十一万円/月

読者の会 問い合わせ用紙 (FAX専用 0120-410-359)

■希望の会員にチェックしてください → 運営会員 賛助会員 希望しない

■ご意見・問い合わせ内容

購読者番号 (現在、農業経営者を定期購読中の方のみご記入下さい。)

お名前	会社名 農場名	TEL

『君は安全・安心をどう語るか?』

～食と農の営業者として～

月刊「農業経営者」
定期購読者
無料

食の安全・安心についてさまざまな議論がある中、生産から流通・外食まで、食に携わる全ての営業者が食の安全・安心についてどのように取り組み、どういった役割を果たしていけるかについて考える。



㈱リテラシー 代表取締役社長/
社会学博士
講師：西澤真理子氏

日時 2007年9月21日(金)
13:00～17:00(受付開始12:00)

会場 東京ミッドタウン
ミッドタウンタワー30階
グッドウィルグループ大会議室 M3002

主催：㈱農業技術通信社・「農業経営者」読者の会

協賛：グッドウィル・グループ(株)
イーサポートリンク(株)

参加費：農業経営者定期購読者 **無料**
(一般は5,000円)

定員：150名(定員になり次第締切りとさせていただきます)



ミッドタウンタワー

◎プログラム

■ 第一部

- 12:00 開場
- 13:00 主催者挨拶「農業経営者」編集長 昆吉則
- 13:05 基調講演：西澤真理子氏 ㈱リテラシー 代表取締役社長/社会学博士
「安全・安心議論の混乱の中で
—お客様と食産業人のリスクコミュニケーション—」
- 13:55 質疑応答
- 14:05 協賛者挨拶・プレゼンテーション
グッドウィル・グループ(株)
- 14:20 休憩

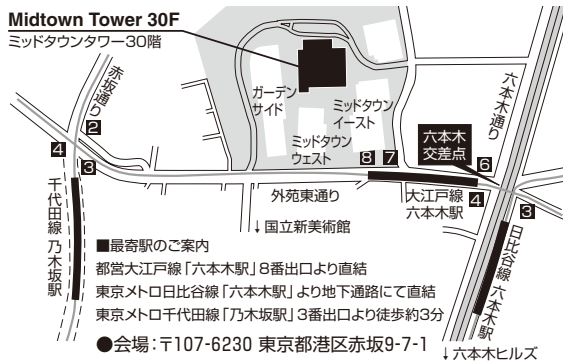
パネルディスカッション 司会
「農業経営者」編集長 昆吉則



■ 第二部

- 14:30 パネルディスカッション
パネリスト
 - 農業経営者/小暮郁夫氏(㈱関東東地区昔がえりの会代表取締役社長)
 - 農業・GM/坂本智美氏(シンジェンタ シード㈱)
 - 生協・小売/伊藤潤子氏(生活協同組合コープこうべ 参与)
 - 外食/坂井健悟氏(㈱フードスコープ 常務取締役)
 - 流通情報インフラ/堀内信介氏(イーサポートリンク㈱代表取締役社長)
 - リスクマネジメント・コミュニケーション/西澤真理子氏
 - 司会/昆吉則(農業経営者編集長)
- 16:20 質疑応答
- 17:00 閉会

申込は今すぐ!!



◎セミナー参加申込書 (FAX専用 0120-410-359)

■参加を希望するセミナーに✓して、必要事項をご記入下さい。

- 9/21 (金)「君は安全・安心をどう語るか?」～食と農の営業者として～ 西澤真理子氏
- 10/12 (金)「農業先進国産業論」叶芳和氏
- 10/25 (木)「私の農業、群馬に始まり青森、静岡への展開」澤浦彰治氏
- 11/9 (金)「コメ価格暴落後の日本の水田経営」土門剛氏
- 11/22 (木)「サイレージ生産を核に畑輪作体系1000haを目指す」坂上隆氏

時間・場所等の詳細は前頁をご覧ください。

定期購読者無料(一般5,000円)※セミナーは事前申込制となっております。

■年20回以上予定のセミナーに無料で参加できる「農業経営者」定期購読のお申込はこちら。

1年購読18,000円(年間購読は送料サービス)

■上記でチェックされた方は下記にご記入下さい。購読者番号(現在、農業経営者を定期購読中の方のみご記入下さい。)

お名前	会社名 農場名	TEL
E-mail		FAX
ご住所 〒		

お申込方法/FAX 0120-410-359まで送信してください。(農業経営者HP <http://www.farm-biz.co.jp/> からもお申込できます)
お問合せ/(株)農業技術通信社「農業経営者」読者の会 事務局TEL 03-3360-2697

※セミナーへの無料参加は、定期購読1件につき、1名様とさせていただきます。但し、2名様以上でお申込される場合、2人目より2,000円となります。予めご了承下さい。